

# 京大病院広報

- Kyoto University Hospital -

京都大学医学部附属病院 広報編集委員会



新春コンサート（関連記事本文6ページ）

## - 目次 -

1. 職員へのインタビュー.....	2
2. 新任教授挨拶	
探索医療センター探索医療検証部教授 福島 雅典.....	4
輸血部教授 前川 平.....	5
3. 退官教授挨拶	
前・形成外科教授 西村善彦.....	6
4. 本院の動き.....	6
5. 各科・部からのメッセージ.....	7
6. 外来診療担当医師一覧表.....	10

ご意見、ご感想は下記までお願いいたします。

京都大学医学部附属病院 広報編集委員会 （事務担当：総務課庶務掛）

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

Eメールアドレス koho@kuhp.kyoto-u.ac.jp

ホームページ http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp

Tel. 075-751-3111

Fax. 075-751-6151

## - 職員へのインタビュー -

第1回目は田中紘一病院長に医学部雑誌部の協力を得てインタビューを行いました。

田中先生は病院長になられてから、1年が経ちますが、なにか感想などございますか？

京大病院では、病院長は兼務なのです。私は移植外科の教授と京大病院長を兼務でやっています。ですから、この京大病院の1240床の仕組みがわかるまでだいぶ時間がかかりましたよ。1年たったらようやく半分くらいわかってきましたね。例えば、どこに問題点があるのか、とかあるいは国との調整。今、全体の、国の大きなデザインの中で医療改革というものが叫ばれています。これがいろいろあってほんとうに大変です。ただこうして病院長に選ばれたので、今は移植外科のほうは仕事を軽くして、病院長の方に力を入れているところです。

病院を率いる病院長と、研究室を率いる教授とはやはり違うものですか？

違いますね。昨今問題となっている医療改革の中に、マネジメント改革があります。また、平成16年から、大学病院が国立大学法人になります。その時にマネジメントの改革もしなければなりません。特に、職員が非公務員型になります。これはかなり今までの仕組みと変わることになります。この中で特に重点が置かれているのは、院長あるいはその周辺のリーダーシップの発揮なのです。ですから、院長をどういう形で選ぶか、どういう人材を選ぶか、どういう形で評価するか、どういう形で辞めさせるか、これが重要なんです。そのかわり院長の権限は大きくなります。今はその準備期間で、独立行政法人化に対応の委員会を立ち上げたところです。ですから今はそのプレリミナルの院長です。私の任期はまだもう少しありますから、その間は一生懸命頑張ります。そのかわり来年はもう辞めさせてもらいたいですね(笑)。

結局、病院は患者さんを中心にすえて各分野がそれぞれ参加して成り立っています。そこで横の連携をとるところに院長の役割があるわけで、それがひとつの診療をする医師とは異なるわけです。今後京大がどうあるべきかということについて、一番大きな方針を定めるのが院長とその周辺なのです。それで去年から副病院長制度というのができました。これは、前院長のときは院長補佐という形でしたが、私のときからは副病院長という形でそれぞれの役割分担があります。今はその3

人の執行部で、今後の病院をどうするかということについて話し合っています。例えばこれからの大学病院の役割についてなどです。

ご存知のとおり、大学病院は二つの点で社会から非難されています。一つは、税金の無駄遣いじゃないかということで、大学病院に税金をつぎ込んで、本当に社会をリードする役割を果たしているのかという点です。そして二つめは、医療事故が多すぎるという点です。



ですからもう大学病院なんかつぶしてしまえという考え方もあります。そういうなかで、私は今後の京都大学としての三つの大きな柱を考えています。一つは、新しい医療を作り出すということです。探索医療センターを含めて、生体肝移植等の高度先進開拓医療、すなわち新しい医療を作り出していくことです。その次は、今まで確立された医療の中に、本当に無駄がないのかを検証していくことです。今までには、保険のために長く入院させていたことがあり、そういうことも含めて、この治療があるいはこの抗生物質が必要なのかを検証しなければなりません。それから患者さんにとって、やってもやらなくてもあまり変わらないような医療というのもよくない。だから、EBM(Evidence Based Medicine)に基づいた医療をしなければならないのです。

それは外部からなんらかのチェックをいれるのですか？

いや、まず自分たちで検証していくのです。それからもう一つ、最近医療の仕組みが大きく変わってきています。とくに米国では入院治療というのが非常に少なくなっています。それはデイサージャリーが増えたり、あるいは化学療法などでもオープンケモセラピーといって、外来で通院しながらの化学療法がでてきたりしています。したがって、どちらかという入院をへらして外来にシフトする、さらには急性の病院と慢性の病院の間での病院間連携、つまり医療ネットワークを確立しなければなりません。以上三つがこれからの京大病院のあり方だろうと私は考えています。

京大病院が新しくなってから、デイサージャリーの施設が作られています、それはかなり使われているのですか？

大体初期の目的の7割くらい、いい時で8割くらいです。だけど、私はもっともっと使えんと思います。京大病院のデイサージャリーは、普通の病院の手術室以上のものすごい立派な施設なのです。デイサージャリーはすごく患者に喜ばれるものなのです。日本人はこういう制度にあまり慣れていなかったのですが、慣れてくるとやっぱり家庭がいいということになります。あと、少し話がはずれますが、電子カルテはご存じですね。電子カルテは、患者さんと相談しながら医療内容を医師が打ち込みます。例えば病名にガンというふうにでると、今では、もう家で治療してください、入院はしません、っていう反応をする患者さんも結構いるのです。そういう意味でも、これから情報公開が進んでくると、ますます入院治療が少なくなってくるのではないかと思います。

初めに話しました、新しい医療を作り出すために京大が作った施設が、探索医療センターです。これは、京都大学が準ナショナルセンターとして作り上げた施設です。ところが日本の医療にはとても悲しいことがあって、京大にいい施設を作ったら各大学が同じ施設を欲がるものです。ですから、京大に多くの予算を割いてしまって他の大学が同じものを要求してきて大丈夫なように、京大の予算は制限されているのです。これが日本の仕組みの先見性がないところなのです。今までの日本の医療において、例えば私は生体肝移植をやっていますが、仮に自分が新しい着想をしたとします。そして、その動物実験も自分で行い評価して、臨床に応用する方法も考えてそして評価します。これが高度先進医療の仕組みなのです。でもこの時に、人に応用する場合に、その安全性はどうなのかという問題がありますね。それをこの開発した人が行くと、ものすごく甘い評価になってしまうものなのです。そのために今回は、そこに客観性を持たせるために、開発した人とそれを検証する人は、まったく別の人になりました。そして当



然、医療をする人も別で、それを評価する人も別なのです。そうすることによって、この日本から発信する医療が、世界においても客観性をもったものになります。そういう意味で探索医療センターを作ったのには大きな意味があります。

次はEBMに関してですが、最近EBM共同研究センターができたのをご存じですか。これは、武田薬品工業株式会社がお金を出していただき、これでEBMに基づいた医療を実現してくださいというものなのです。それからもう一つ、大学院に社会健康医学系専攻があります。ここでは、生物統計を専攻する人から薬理学あるいは倫理を研究する人まで、いろいろな人が集まってとにかく医療の質を上げようという目的で作られたものです。こういう中でEBMに基づいた医療が、日常の臨床に持ち込まれれば、極めていい医療ができると思います。

そのEBMに基づいた医療など、今京大が目指す医療というのには、どこか外国に目標としている病院というのがありますか？

それは今までの京大の伝統の中で、やはりこれは必要だということまでできたもので、目指す理想というものには特にありません。新しい医療だけでいいのかということになると、例えばガンの手術ならどここの病院でやりなさい、京大は新しい医療を研究してください、というふうに、京大がリサーチホスピタルになってしまいます。でもこれではちょっとおかしいのです。京大も採算性も考えなければいけないのです(笑)。まあそれはいいとしても、やはり京大病院では質の高い先進医療を提供していきたい。ですから、私は新病棟には、生物統計を研究する人、EBMを考える人など、さまざまな人が入るようになる必要があると思います。

それでは少し話が変わりますが、病院長をされていて、やりがいを感じる時ってどんなときですか？

病院長というのはみんなのサポート役なんですね。使命感はありますが、やっぱり移植外科をやるほうが、新しいチャレンジングなことができます。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。

## - 新任教授挨拶 -

## 探索医療センター探索医療検証部を担当するにあたって

探索医療センター探索医療検証部教授

ふくしままきのり  
福島雅典

平成13年12月1日付けで探索医療検証部を担当することになりましたのでご挨拶申し上げます。

私は平成12年4月1日より医学研究科・社会健康医学系専攻薬剤疫学教授として着任して以来、医薬品の開発、審査・承認、適正使用そして、副作用被害の防止のための新しい臨床科学の教育・研究を立ち上げ、展開してきましたが、この度、探索医療(トランスレーショナルリサーチ)センター検証部を立ち上げることになりました。

検証部は、治験とは異なり、探索医療開発部で清水教授の監督指導の下に、すすめられるプロジェクトをはじめ、医師主導で行われる新しい医療技術-診断・治療・予防法-の臨床開発のスタートからフィニッシュまで全体を管理し、臨床試験の客観性を確保し、質を保証します。そのために、綿密な臨床試験のデザイン、プロトコル(臨床試験実施計画書)、CRF(症例調査票)および患者さんへの説明文書の作成を支援して、それらの倫理審査を促進します。また、臨床試験が始まれば、モニタリングを行って質管理し、クリニカルリサーチコーディネーター(CRC)によって収集されたデータを解析・評価します。

検証部スタッフは臨床試験を客観的立場で監督する私と専任の生物統計家とCRC、データマネジャー計5名です。このような専門的な医師主導の臨床試験支援部門はEBM共同センター(センター長：福井教授、平成13年2月設立)と合わせてわが国では初めての組織です。

私は、昭和48年に名古屋大学医学部を卒業して、京都大学大学院医学研究科(早石修教授)、浜松医科大学助手(生化学第一講座)を経て、昭和53年より平成12年4月本学に

着任するまで22年間、癌の内科的治療に携わってきました。腫瘍内科というわが国ではまだ確立していない分野の実践と啓蒙を行うかたわら、臨床試験の科学的基盤の確立にも力を注いできましたが、中西研究科長、田中病院長はじめ教授の皆様の御指導の下、適切な場と任務を与えられました。

医師主導による臨床試験をよりスムーズに、高いレベルで行って新しい医療技術開発に貢献する所存です。今後とも皆様のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

## - 略歴 -

- 昭和48年4月 名古屋大学医学部卒業
- 昭和51年3月 京都大学大学院医学研究科生理系専攻(医化学第一講座)博士課程退学
- 昭和61年4月 浜松医科大学助手(生化学第一講座)
- 昭和53年4月 愛知がんセンター病院 内科勤務
- 昭和55年9月 米国テキサスメディカルセンター・ベイラー医大客員助教授
- 平成12年4月 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻  
健康解析学講座薬剤疫学教授
- 平成13年12月 京都大学医学部附属病院探索医療センター 探索医療検証部教授

## - 新任教授挨拶 -

### 輸血から細胞治療へ

輸血部教授 まえかわ 前川 たいら 平



平成14年1月付けで、京都大学医学部附属病院輸血部教授に就任いたしましたので御挨拶申し上げます。私は京都府立医大の研修医時代、当時京都大学におられた高月清先生の研究室に通い勉強させて頂きました。私が血液学に興味を持ったのは、このときの経験が契機になったと思っております。大学院時には阿部達生教授の指導下に造血幹細胞やアンチセンス治療法開発の研究を行い、京都第一日赤では血液疾患患者の診療に専念して参りました。

平成8年東大医科学研究所に転出し、輸血部副部長としてわが国最大規模の骨髄移植治療を支援し、院内における安全で効率的な輸血療法および管理の普及に尽力して参りました。また、平成9年細胞治療のコアとなるGMP準拠細胞プロセッシングセンターを建設し稼働させ、成人に対する臍帯血移植、樹状細胞を用いた免疫細胞治療、腎癌に対する遺伝子治療などの先端的臨床試験研究(トランスレーショナル・リサーチ)を臨床科とともに実施して参りました。

本学では、生体肝移植をはじめとする臓器移植治療、造血幹細胞移植などの高度先進医療が強力に推進され、加えて再生医療などあたらしい医学研究が確立されようとしております。今後、基礎研究の成果を臨床応用させるトランスレーショナル・リサーチがさらに発展してゆくと考えられます。私は21世紀のあたらしい輸血医学の発展をめざし、院内におけるインテリジェントな輸血管理システムを構築するとともに、細胞治療、再生治療など先端医療の開発を支援するため、教育、臨床、研究に全力を尽くす所存でございます。

今後とも、皆様方のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

#### - 略歴 -

- 昭和53年3月 京都府立医科大学卒業
- 昭和53年5月 京都府立医科大学附属病院研修医(第3内科)
- 昭和61年3月 京都府立医科大学大学院修了
- 昭和61年4月 京都第一赤十字病院勤務(血液内科、医師)
- 昭和63年4月 豪州留学(メルボルン、Walter & Eliza Hall 医学研究所、Metcalf 教授)
- 平成2年3月 京都府立医科大学助手(衛生学教室)
- 平成8年2月 東京大学講師(医科学研究所附属病院、輸血部)
- 平成14年1月 京都大学教授(医学部附属病院、輸血部)

**- 退官教授挨拶 -**

前・形成外科教授 西村善彦

形成外科は昭和51年10月1日に附属病院の診療科として設置され、昭和62年5月に講座になりました。他科に較べ随分若い診療科ですが、全国の国立大学の中では最も古い部類に入ります。医療の専門分化の流れに沿って誕生した科です。私は2代目の診療科長として平成5年12月に着任しました。旧外来棟では耳鼻科の片隅で細々と診療し、外来手術は皮膚科に部屋を借りる、といった半端ものでしたが、新外来棟ができて、ようやく一人前に認知されたという感じがすると思います。当科の対象疾患は唇裂・口蓋裂を初めとした先天性形態異常と熱傷や外傷による後天性形態異常が従来からの主たる疾患ですが、それに加え、悪性腫瘍摘出後の同時再建の症例が急増したことが最近の特徴として挙げられます。毎週1～2例に及んでおります。これらは当科の定時枠を越え耳鼻科、口腔外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、外科などの各科との共同作業で、我々の

得意とする顕微鏡下での微小血管吻合術を駆使し、皮膚・筋肉ときには骨を含んだ複合組織を遠隔部位から移植するものです。細かいことを申しますが、これらの保険点数は患者さんの所属する診療科が請求しますので、我々は単にお役に立つことだけを生き甲斐に、ときには翌朝まで手術場で奮闘しております。稼働率や額として数字に反映されないことに決して不満を云わず、症例一つ一つに懸命に取り組んでいることを誇りにさえ思っております。当科の若い諸君が医師としての本分を弁え、黙々と難作業に挑戦する姿を見るにつけ感謝の気持ちで思わず手を合わすことしばしばでした。私の退官後もこの路線は踏襲されるものと思っております。京大病院における形成外科の存在意義が更に重くなったとさえ思います。心置きなく退官できますことを皆様に感謝申し上げます。

**- 本院の動き -**

内科系の診療科の再編が行われ、7月1日より、老年科と神経内科を内科に統合し、内科の専門診療科として、血液・腫瘍内科、内分泌・代謝内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、免疫・膠原病内科、老年内科、糖尿病・栄養内科、総合診療科、神経内科、腎臓内科を設置した。

入院患者に集団食中毒が発生したという想定で、シミュレーション訓練が7月18日に行われた。様々な職種の職員が参加し、報告・連絡体制のチェックを行った。この結果を踏まえて院内のマニュアルを作成する予定である。

探索医療センターの流動プロジェクトについて、公募の

結果、「HGF肝再生医療プロジェクト」(リーダー：坪内博仁宮崎医科大学教授)と「臍細胞再生医療」(リーダー：清野進千葉大学教授)が採択され、7月より研究をスタートした。

近年問題となっている輸血事故を防ぐため、輸血部の業務当直を4月より開始した。これにより、輸血に関する検査や血液製剤の供給事務を時間外においても適正に行える体制が整った。

日頃京大病院で活動していただいているボランティアの方との懇談会が、3月12日に開催された。当日は20人以上のボランティアの方の参加があり、合わせて長期間活

動している方への表彰式が行われた。

3月11日に西病棟において昼間の出火を想定した消防訓練が行われた。当日は左京消防署の協力を得て、避難誘導、消火器操作訓練などを行った。

恒例となっている「新春コンサート」が、外来棟アトリウムホールにて1月22日に開かれた。当日は院内学級児童や生徒による歌と演奏、ボサノバの演奏、闘病体験談などが披露され、約200人の観客から盛んな拍手が送られた。

## - 各科・部からのメッセージ -

**血液・腫瘍内科**

急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器腫瘍に対して新規の薬剤を取り入れた化学療法を行っています。全身状態のよい患者様には外来で化学療法を実施しています。難治性疾患に対しては、自家または同種造血幹細胞移植や、前処置を軽減したミニ移植を実施しています。平成13年の造血幹細胞移植件数は46例でした。セカンドオピニオンにも積極的に応じます。

**内分泌・代謝内科**

高血圧症、糖尿病、肥満症、高脂血症などの生活習慣病は、合併して発病することが多く、互いに悪影響を及ぼして、最終的には動脈硬化症や臓器合併症を進行させます。当科では、生活習慣病の予防から治療まで、生活習慣病の征圧に取り組んでいます。特に、我々が世界に先駆け明らかにした基礎的研究成果を実際の臨床の場に応用して、最先端医療を実践する“生活習慣病の展開医療(Translational Medicine)”を目標として活動しています。

**消化器内科**

消化器病全般に対応しており先進的な医療を展開しています。早期の胃癌、大腸癌の多くは今や内視鏡的に治療可能です。肝炎、肝硬変から肝癌まで一貫して治療し、特に胃癌のラジオ波治療の先駆的施設です。生体移植後のウイルス性肝炎再発予防に取り組み、術前あるいは術後の抗ウイルス療法が効果をあげています。消化器領域の総合的診療から臓器移植までの広い守

備範囲が自慢です。お困りの際にはぜひ一度当科外来までご相談下さい。

**免疫・膠原病内科**

関西圏で初めての免疫・膠原病科として2000年10月に新設されました。多くの患者さん、医療機関に当診療科を知っていただくようになり、外来患者数、入院患者数ともに着実に増え続けています。リウマチ疾患・膠原病で苦しんでおられる多くの患者さんの力になるために、スタッフ一丸となって研鑽を積み重ねてまいります。リウマチ・膠原病でお困りでしたら、是非ご相談下さい。

**神経内科**

アルツハイマー病などの変性性痴呆の病態解明と治療に取り組んでいます。核医学教室、高次脳機能総合研究センターとの協力により、脳内のブドウ糖代謝や脳血流分布を画像化し、客観的に評価することにより、よりの確な診断や内科的治療を可能としています。また、内科的疾患などによる二次性の痴呆についても積極的に治療を試みています。また、4月より専門外来を設けましたので、お気軽にご相談下さい。

**第二外科**

( )第2外科 消化器外科疾患の治療方針は内科、外科、放射線科、時には病理部との合同カンファレンスで決定しています。外科に入院したら何でも手術する訳ではありません。肝・胆道外科：拡大肝切除を含め、年間約100例の肝切除を行っています。放

射線科と共同で、肝臓癌再発等に対して、動脈塞栓術、局所治療(ラジオ波焼灼、エタノール注入等)も年間100例以上行っています。消化管外科：胃や大腸の疾患に対して拡大手術から、腹腔鏡を用いた縮小手術、機能温存手術まで年間100例の手術を行っています。( )乳腺外科 乳癌に対して1泊入院を基本に、乳房温存手術、胸筋温存乳房切除術を年間70例行っています。詳しくはホームページ(<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~surgery2/index.html>)をご覧ください。

**眼科(緑内障外来)**

現在我々は、緑内障治療としては新しい試みである視神経保護をめざして内服薬の治療をはじめとしています。この内服薬は現在既に抗パーキンソン薬として使用されており、安全性は確認されているものです。原発性開放隅角緑内障または正常眼圧緑内障で、無治療または点眼2剤までで眼圧が18mmHg以下にコントロールされており、湖崎分類のbからa(初期から中期の視野変化)の患者さんで興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、一度ご相談ください。連絡先：075-751-3258(眼科医局：柏井、田辺)

**小児科**

血液、腫瘍、免疫アレルギー、神経、代謝内分泌、循環器、新生児、心理相談の各分野において、専門とするスタッフが診療に当たっています。各専門スタッフは一体となって診療を行っており、小児のトータルケアを実践し

ています。また、月1～2例の骨髄移植を行っており、白血病ばかりでなく、免疫疾患、代謝疾患等、従来治療困難であった症例に対して、有用な治療法となっています。

## 皮膚科

当科では、一般外来診療の他に13の専門外来(アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、光線過敏症、蕁麻疹、白癬、脱毛症、乾癬、水疱症、膠原病、皮膚神経、皮膚外科、静脈瘤、褥瘡)を設けると共に、白斑に対し吸引水疱植皮を試みるなど、個々症例に対し適切かつ最良の治療を選択するよう心掛けています。また、他科とも密接な連携をとっていますので、皮膚に異常あるいは‘できもの’が生じた時はお気軽にご相談下さい。

## 耳鼻咽喉科

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の手術治療を積極的に行っています。鼻に対しては、下鼻甲介粘膜焼灼や鼻中隔矯正術を、咽頭に対しては口蓋扁桃摘出術、口蓋垂軟口蓋咽頭形成術(UPPP)、アデノイド切除術など、各ケースの狭窄部位に応じて各種手術法を組み合わせで行います。無呼吸のない単純いびき症に対しては、Laser assisted uvuloplasty (LAUP)の日帰り手術も行っています。(咽頭外来担当：平塚)

## 麻酔科

当科は手術部、デイ・サージャリー診療部において手術の麻酔管理、光学医療診療部、放射線部において検査、治療の麻酔管理、ペインクリニック外来(疼痛外来)において難治性疼痛疾患(帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、反射性交

感神経性萎縮症、癌性疼痛など)に対する集学的治療(神経ブロック、薬物療法、理学療法など)を行っています。ペインクリニック外来(075-751-3442)は月・水・金曜日の午前中に行っています。

## 心臓血管外科

大動脈解離(いわゆる解離性大動脈瘤)や胸部大動脈瘤の治療でも極めて良好な成績を出しています。特に大動脈解離では年齢制限なしでも米田着任以来無敗を誇っています。胸部大動脈瘤では最も難しい弓部のそれでも新術式で高い成功率を上げています。いずれも放置すれば死に至る疾患ですから、諦める前には是非ご相談下さい。075-751-3788 か 3789(心外病棟、24時間対応)

## 心臓血管外科

ご要望にお応えしフィルムコンサルトを始めました。胸部X線、胸部CT、腹部CT、心エコー・ドップラーその他で心配な所見、不可解なものなどがあれば、そのフィルムないしビデオ等を京大病院心臓血管外科フィルムコンサルト係までお送り下さい。長い手紙等は不要ですが、患者の年齢・性別・主訴がありますとより助かります。お問い合わせは075-751-3788 か 3789(心外病棟)まで。先生方の日常診療にお役に立てることと存じます。

## 呼吸器外科

「自分や自分の家族が受けたい医療を行う」ことを念頭に診療しています。(1)肺癌に対しては「切るだけの外科」を脱却した集学的治療を行っており手術成績は日本でトップクラスです。また、進行癌

に対しても「腫瘍との共存」をテーマにQOLを維持しながら治療効果を上げています。外来抗癌剤点滴治療も積極的に取り入れています。(2)今までは治療法がないとされていた呼吸器疾患に対して先端的医療を手がけています。肺移植(国内4指定施設の1つ)、気管移植、肺気腫に対する外科治療など日本のパイロット的役割を果たしています。連絡先：075-751-4975(秘書室)

## 薬剤部

薬剤部では新しい病棟サービスとして「散剤分包紙への印字システム」導入を展開しています。本システムは散剤分包紙の1包毎に患者名、薬品名、1回分の薬用量をオーダー情報に基づき印字するものであります。本システムの導入によりリスクマネジメントの向上と看護業務の軽減が図れ、患者への情報提供を通して患者サービスの推進にも繋がると考えています。

## 院内感染対策チーム(ICT)

感染症はほとんど全ての診療科に関係しています。ICTでは検査部長をはじめ6名の医師、看護師、検査技師などで、院内感染対策の一環として敗血症や術後創感染症など重篤な感染症に対して、感染症専門医として診断・治療・予防などに関するコンサルテーション活動を行っています。先生方のご協力をお願いいたします。また、感染症の症例に関してぜひ私たちに御相談下さい。(連絡先：ICT内線4967)

### 輸血部

平成14年4月から検査部の協力を得て、輸血検査・管理24時間体制を実施しております。輸血部は21世紀のあたらしい輸血医学の発展と、院内におけるインテリジェントな輸血管理システムの構築を目指し、日夜努力しております。また、各臨床科のコアとして、細胞治療、再生治療、移植治療など先端医療開発を支援するため、細胞プロセッシング・センター(仮称)が輸血部内に完成間近であります。輸血に関しては、何でも御相談下さい。

### 遺伝子診療部

臨床遺伝学の専門医師が、遺伝・遺伝子診療に関係する全てのことについて相談・説明・カウンセリングを行っています。どんなことでも、気軽に受診してください。遺伝子診断や遺伝子治療など最新の遺伝医学に関する情報について、わかりやすく丁寧な説明を納得のいくまで行います。臨床心理士の出席を得て心理面への配慮も行っています。必要な場合は遺伝子診断を行います。前日までに電話で予約してください。(専用電話：075-751-4350)

### 医療安全管理室

Patient Safety から Patient Satisfaction へ；今春、誕生したばかりの部門です。医療の質の向上が重視されるなか、京大病院に対する国民の眼は一段と厳しくなるとともに、そこにはより一層の期待感が込められています。単なる安全管理ではなく、常に患者様中心の patient-oriented な治療ができますよう病院・全職員をサポートし、すべての患者様が満足して帰ることができますよう、活動しています。

外来診療担当医表 1階 (2002年8月)

京都大学医学部附属病院

1-A受付		総合診療科(L)				内線 4400	FAX 4402
診療室	曜日	月	火	水	木	金	
101 TEL(4403)	午前	金 容吾 (総診)	白水 信生 (総診)	阿田 好一 (総診)	小山 信史 (総診)	藤村 聡 (総診)	
	午後	玉城 浩己 (総診)	白水 信生 (総診)	金 容吾 (総診)		藤村 聡 (総診)	
102 TEL(4416)	午前	野口 善令 (総診)	新保 卓郎 (総診)	酒井 運也 (総診)	松井 邦彦 (総診)	小川 弘 (総診)	
	午後		松森 由希子 (総診)	酒井 運也 (総診)	高橋 裕子 (総診)	小山 弘 (総診)	
103 TEL(4404)	午前	新宮 一成 (総診)	深津 尚史 (精神)	和田 信 (精神)	中山 健夫 (総診)	川上 剛 (総診)	
	午後					川上 剛 (総診)	
104 TEL(4405)	午前	松井 邦彦 (総診)	松井 邦彦 (総診)	福井 次矢 (総診)	新保 卓郎 (総診)	酒井 運也 (総診)	
	午後			福井 次矢 (総診)	新保 卓郎 (総診)	酒井 運也 (総診)	
105 TEL(4406)	午前	酒井 運也 (総診)	阿田 好一 (総診)	新保 卓郎 (総診)	野口 善令 (総診)	小川 弘 (総診)	
	午後		阿田 好一 (総診)		野口 善令 (総診)	小山 弘 (総診)	
106 TEL(4407)	午前	高田 利彦 (総診)	南 次郎 (総診)	高田 利彦 (総診)	川上 剛 (総診)	小田垣 孝雄 (総診)	
	午後		南 次郎 (総診)	島田 利彦 (総診)	川上 剛 (総診)	小田垣 孝雄 (総診)	
107 TEL(4408)	午前	浅井 篤 (総診)	野口 善令 (総診)	小山 弘 (総診)	高田 利彦 (総診)	酒田 剛史 (総診)	
	午後						
108 TEL(4409)	午前	担当医 (内分派)	小田垣 孝雄 (総診)	酒田 剛史 (総診)	金 容吾 (総診)	南 次郎 (総診)	
	午後		小田垣 孝雄 (総診)	酒田 剛史 (総診)	金 容吾 (総診)	南 次郎 (総診)	
109 TEL(4410)	午前	担当医 (老年)	担当医 (老年)	担当医 (老年)	高橋 裕子 (総診)	担当医 (老年)	
	午後						
110 TEL(4411)	午前						
	午後						

1-B受付		整形外科(120)				内線 4400	FAX 4402
診療室	曜日	月	火	水	木	金	
111 TEL(3696)	TEL(3696)			根尾 昌志 (総診)	清水 勲行 (総診)		
		木		根尾 昌志 (総診)	清水 勲行 (総診)		
112 TEL(3697)	TEL(3697)		戸田 淳也 (第2,4週)	中川 泰彰 (第1,3,5週)	川野 圭一 (第2,4週)	笠原 勝幸 (第2,4週)	
		木	戸田 淳也 (第2,4週)	中川 泰彰 (第1,3,5週)	川野 圭一 (第2,4週)	笠原 勝幸 (第2,4週)	
113 TEL(3698)	TEL(3698)		中山 富貴 (第1,3,5週)	坂本 武志 (第1,3,5週)	田村 治郎 (第1,3,5週)		
		木	中山 富貴 (第1,3,5週)	坂本 武志 (第1,3,5週)	田村 治郎 (第1,3,5週)		
114 TEL(4533)	TEL(4533)						
		木					
115 TEL(4534)	TEL(4534)		清水 真 (第1,3,5週)	清水 暉行 (第1,3,5週)	安田 義 (第1,3,5週)	中山 富貴 (第1,3,5週)	
		木	清水 真 (第1,3,5週)	清水 暉行 (第1,3,5週)	安田 義 (第1,3,5週)	中山 富貴 (第1,3,5週)	
116 TEL(4535)	TEL(4535)				担当未定	中川 泰彰 (第1,3,5週)	
		木			担当未定	中川 泰彰 (第1,3,5週)	
117 TEL(4536)	TEL(4536)						
		木					

専門外来の形態は紹介状が必要。無ければ115号室で受付

運伝子診療部				内線 4400	
曜日	月	火	水	金	
運伝子診療部A TEL(4541)	小杉 真司	依藤 亨	小杉 真司	藤田 潤	藤村 聡
運伝子診療部B TEL(4545)	依藤 亨	藤田 潤	藤村 聡	小杉 真司	富和 清隆

前日までに予約が必要となります 075-751-4350

精神神経科外来担当医表

診療室	曜日	月	火	水	木	金
一診	一診	林 拓二	石坂 好樹	野間 俊一	深尾 憲二朗	山岸 洋
		岸 信之	吉岡 隆一	阿田 俊	深津 尚史	村井 俊哉
三診	三診	田原 明夫	山岸 洋		林 拓二	児童外来 阿田 俊
						児童外来 石坂 好樹
四診	四診		野間 俊一	石坂 好樹	野間 俊一	
五診	五診		深尾 憲二朗		村井 俊哉	吉岡 隆一
六診	六診				和田 信	
七診	七診					岸 信之

如鳳室 : 3384 / 3394  
事務室 : 3373 / 3374

外来診療担当医表 2階 内科系 (2002年8月)

京都大学医学部附属病院

2-A受付					消化器科(C)					内課 4425 FAX 4438						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
201 TEL(4444)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
202 TEL(3684)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
203 TEL(4968)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
204 TEL(4968)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
205 TEL(4298)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
206 TEL(4668)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

\* 木曜日・7:03号室・菅田医師の予約枠は菅田医師専用で9。

2-B受付					内分泌・代謝科(E)					内課 4425 FAX 4438						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
209 TEL(4440)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
210 TEL(4241)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

2-B受付					糖尿病・栄養科(F)					内課 4425 FAX 4438						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
211 TEL(4434)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
212 TEL(4438)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
213 TEL(4437)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
214 TEL(3564)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
215 TEL(3674)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
216 TEL(4441)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
栄養指導室 TEL(4439)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

2-A受付					腎臓科(D)					内課 4425 FAX 4438						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
206A TEL(4424)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
206 TEL(4424)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
207 TEL(4426)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
208 TEL(4239)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
205A TEL(4298)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
205 TEL(4298)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

2-C受付					呼吸器科(G)					内課 4445 FAX 4450						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
217 TEL(4931)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
218 TEL(4923)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
219 TEL(4575)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
220 TEL(4925)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
221 TEL(4926)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

2-C受付					循環器科(H)					内課 4445 FAX 4450						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
222 TEL(3682)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
223 TEL(3683)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
224 TEL(4455)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
225 TEL(4447)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
226 TEL(4448)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
227 TEL(4449)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

2-D受付					老年科(J)					内課 4445 FAX 4450						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
228 TEL(3685)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
229 TEL(3686)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
234 TEL(4454)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
235 TEL(3719)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
241 TEL(4571)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

物忘れ外来は完全予約制(751-4445に午後電話して下さい)

2-D受付					神経内科(K)					内課 4445 FAX 4450						
診察室	曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
230 TEL(3728)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
231 TEL(3739)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
232 TEL(4456)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
233 TEL(4457)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
234 TEL(4454)		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

外来診療担当医表 2階 外科系 (2002年8月) 京都大学医学部附属病院

2-F受付 歯科口腔外科(140)					内線 3739	金
診療室	曜日	月	火	水	木	金
予診室1 TEL(4548)		西田 光男 (濱田 友恵)	坪井 陽一	安田 真也	別所 和久	村上 賢一郎 (濱田 友恵)
予診室2 TEL(4549)		高橋 克	海原 真治	鶴塚 忠彦(再診)	吉田 和也	山村 功
251 永り川室		飯塚 正人 高橋 克(2.4週) 吉田 和也	村上 賢一 高橋 克(2.4週) 山村 功(1.3.5週)	西田 光男 別所和久(第3週) 安田 真也	村上賢一(再診)	
TEL(4531)		安藤 志保	安藤 志保	安藤 志保	安藤 志保	安藤 志保
診察室	20-1	坪井 陽一	坪井 陽一			
2	20-2	後藤 和久	白井 泰彦			
3	20-3	海原 真治	別所 和久	後藤 和久	白井 泰彦	
4	20-4	高橋 克	別所 和久	別所 和久	山村 功	
TEL	20-5	吉田 和也	高橋 克	山村 功	山村 功	
(3	20-6	安田 真也	吉田 和也(初診)	吉田 和也	吉田 和也	
7	20-7	西田 光男	清田 友恵	清田 友恵	清田 友恵	
3	20-8	山本 博充	園部 純也	園部 純也	園部 純也	
0)	20-9	山本 博充	山本 博充	山本 博充	山本 博充	
処置室	250					
	午前				山村 功(3.5週)	
	午後				高橋 克(2.4週)	
20-3		西田 光男 高橋 克	別所 和久 吉田 和也		山村 功(3.5週) 高橋 克(2.4週) 吉田 和也	西田 光男 高橋 克 横江 義彦 山村 功
20-6		吉田 和也 坪井 陽一 (1.3.5週)				
20-7		村上 賢一郎 山村 功				
251		西田 光男 安田 真也	坪井 陽一 山村 功			インフュージョン 坪井 陽一 安田 真也 高橋 克

2-G受付 放射線科核医学科(150)					内線 4420	金
診療室	曜日	月	火	水	木	金
255 TEL(4564)		安里 令人	小西 淳二	小西 淳二	小久保 雅樹 (厳経通のみ)	
256	午前	福来 慶春 (午前のみ)	山内 和香子		伊藤 亨	永田 靖
TEL(4565)	午後				小野 公二 (2.4週)	
257 永り川室 TEL(3423)	午前	大屋 夏生 高橋 潤		河村 幸子	佐々木 慶英	坂本 隆史
258 TEL(4566)	午後	溝脇 尚志	永田 靖	河村 幸子		
259 TEL(4567)	午前	荒木 慶英	荒木 則雄	柴田 徹	坂本 隆史	崔 秉哲
中診地下(2室)		担当医2	担当医4	担当医5	担当医3	担当医1
TEL(3532)		担当医1	担当医6	担当医9	担当医10	担当医7
中診地下(3室)		担当医1	担当医12	担当医13		
TEL(3532)		担当医1	担当医12	担当医13		
中診地下(4室)		担当医1	担当医12	担当医13		
TEL(3532)		担当医1	担当医12	担当医13		
R1診療棟 TEL(3543)						甲本藤 小西 淳二 東 達也
南西放射 101		南西担当医1 南西担当医2 南西担当医3				

2-E受付 脳神経外科(170)					内線 3729	金
診療室	曜日	月	火	水	木	金
235 TEL(3719)						化学療法 G 高橋 淳 高橋 淳
236 TEL(3720)		菊田 健一郎	菊田 健一郎		片岡 大治	
237 TEL(3721)		定藤 章代	高橋 淳 高橋 潤 高橋 潤・大塚 夏生		高木 康志	
238 TEL(3722)		高橋 淳	高橋 潤		三國 信啓	
239 TEL(4569)		高橋 潤	野崎 和彦		野崎 和彦	
240 TEL(4570)		宮本 亨	大東祥孝(午後)	担当医 (新患のみ)	担当医 (新患のみ)	宮本 亨
241 TEL(4571)		橋本 信夫				

\* 専門外来は、基本的には再診のみです。

半年以上経過していない患者は、水・木曜でも受診可能  
ラジオサージャリー外来は午後

京都大学医学部附属病院

3-D受付		泌尿器科(100)				内線 3700 FAX 4301
診察室	曜日	月	火	水	木	金
323 TEL(4500)	伊藤 哲之	木	清川 岳彦	木	木	金
324 TEL(4521)	小川 修	木	木下 秀文	木	木	金
325 TEL(4501)	山本 新吾	木	丸岡 友則	木	木	金
326 TEL(4517)	担当医(午)	木	担当医	担当医	担当医	担当医
327 TEL(3702)	担当医(夜)	木	担当医	担当医	担当医	担当医
328 TEL(3703)	担当医(夜)	木	担当医	担当医	担当医	担当医
329 TEL(4515)	担当医(夜)	木	担当医	担当医	担当医	担当医
330 TEL(4518)	担当医(夜)	木	担当医	担当医	担当医	担当医

専門外来は予約制です。  
(木)木下秀文(午後) 木下秀文(午後)  
(月)木下秀文(午後) 木下秀文(午後)

3-E受付		皮膚科(090)				内線 3714 FAX 4325
診察室	曜日	月	火	水	木	金
334 TEL(3715)	伊藤 千佳子	木	立花 雅夫	木	木	金
335 TEL(4509)	金澤 伸雄	木	藤井 秀孝	木	木	金
336 TEL(4510)	山岡 淳一	木	神戶 重智	木	木	金
338 TEL(4511)	森田 和政	木	森田 和政	木	木	金
340 TEL(4512)	中村 元信	木	中村 元信	木	木	金
331 TEL(4514)	立花 雅夫(午後)	木	立花 雅夫(午後)	木	木	金
332 TEL(3718)	宮地 良樹	木	宮地 良樹	木	木	金
333 TEL(3706)	担当医	木	担当医	担当医	担当医	担当医

皮膚科外来は予約制です。  
(木)木下秀文(午後) 木下秀文(午後)  
(月)木下秀文(午後) 木下秀文(午後)

外来診療担当医表 3階 (2002年8月)

3-C受付		産科婦人科(070)				内線 3700 FAX 4301
診察室	曜日	月	火	水	木	金
318 TEL(4559)	予診医師	木	予診医師	予診医師	予診医師	予診医師
319 TEL(4502)	藤井 信吾	木	角井 和代	竹村 篤紀	伊賀 宏晃	巽 啓司
320 TEL(4497)	佐川 典正	木	田原 茂夫	高橋 伸	浦口 善宏	刈谷 友彦
321 TEL(4489)	藤原 健	木	藤原 健	藤原 健	藤原 健	藤原 健
322 TEL(4489)	藤原 健	木	藤原 健	藤原 健	藤原 健	藤原 健
323 TEL(4489)	藤原 健	木	藤原 健	藤原 健	藤原 健	藤原 健
324 TEL(4489)	藤原 健	木	藤原 健	藤原 健	藤原 健	藤原 健

新患及び予約無しで半年以上来院していない患者は診察前に問診票を記入し  
必ず318号室で予約を受ける

3-F受付		耳鼻咽喉科(110)				内線 3737 FAX 4525
診察室	曜日	月	火	水	木	金
337 TEL(4529)	担当医	木	担当医	担当医	担当医	担当医
339 TEL(3732)	藤田 馨介	木	藤田 馨介	藤田 馨介	藤田 馨介	藤田 馨介
341 TEL(4528)	辻 智子	木	辻 智子	辻 智子	辻 智子	辻 智子
342 TEL(4527)	伊藤 壽一	木	伊藤 壽一	伊藤 壽一	伊藤 壽一	伊藤 壽一
343 TEL(4526)	中 信三	木	中 信三	中 信三	中 信三	中 信三
344 TEL(4524)	藤本 康子	木	藤本 康子	藤本 康子	藤本 康子	藤本 康子
345 TEL(4523)	丸丸 真一	木	丸丸 真一	丸丸 真一	丸丸 真一	丸丸 真一
346 TEL(4522)	川野 通夫	木	川野 通夫	川野 通夫	川野 通夫	川野 通夫
347 TEL(3844)	担当医	木	担当医	担当医	担当医	担当医

専門外来はすべて予約制

3-B受付		小児科(080)				内線 3709 FAX 4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
311 TEL(3700)	水ノ口 隆	木	水ノ口 隆	水ノ口 隆	水ノ口 隆	水ノ口 隆
312 TEL(3711)	野村 浩二	木	野村 浩二	野村 浩二	野村 浩二	野村 浩二
313 TEL(4503)	土井 拓	木	土井 拓	土井 拓	土井 拓	土井 拓
314 TEL(4504)	藤原 孝	木	藤原 孝	藤原 孝	藤原 孝	藤原 孝
315 TEL(4505)	中畑 隆俊	木	中畑 隆俊	中畑 隆俊	中畑 隆俊	中畑 隆俊
316 TEL(4506)	河井 昌彦	木	河井 昌彦	河井 昌彦	河井 昌彦	河井 昌彦
317 TEL(4507)	中瀬 潤	木	中瀬 潤	中瀬 潤	中瀬 潤	中瀬 潤

小児心理 友久Dは予約センターで予約を入れないこと

3-A受付		眼科(060)				内線 3709 FAX 4495
診察室	曜日	月	火	水	木	金
301 TEL(4481)	高木 均	木	高木 均	高木 均	高木 均	高木 均
302 TEL(4482)	宮本 和明	木	宮本 和明	宮本 和明	宮本 和明	宮本 和明
303 TEL(4483)	宮本 紀子	木	宮本 紀子	宮本 紀子	宮本 紀子	宮本 紀子
304 TEL(4484)	田邊 昌代	木	田邊 昌代	田邊 昌代	田邊 昌代	田邊 昌代
305 TEL(4485)	尾島 和成	木	尾島 和成	尾島 和成	尾島 和成	尾島 和成
306 TEL(4486)	宮本 紀子	木	宮本 紀子	宮本 紀子	宮本 紀子	宮本 紀子
307 TEL(4487)	村上周昭	木	村上周昭	村上周昭	村上周昭	村上周昭
308 TEL(4488)	宮本 和明	木	宮本 和明	宮本 和明	宮本 和明	宮本 和明
309 TEL(4489)	高橋 政代	木	高橋 政代	高橋 政代	高橋 政代	高橋 政代
310 TEL(4491)	高橋 政代	木	高橋 政代	高橋 政代	高橋 政代	高橋 政代

専門外来はすべて予約制です。

外来診療担当医表 4階 (2002年8月) 京都大学医学部附属病院

4-E受付		外科(M)				内線 4460 FAX 4462	
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
411 TEL(4468)	初診一般 今村正之 (一外)	初診一般 山岡義生 (一外)	初診一般 山岡義生 (一外)	初診一般 土井隆一郎 (一外)	初診一般 高原康行 (二外)	初診一般 小野寺久 (一外)	初診一般 大腸 小野寺久 (一外)
412 TEL(4469)	肝・胆・膵 藤本康二 (一外)	食道・胃・大腸 廣瀬哲朗 (一外)	カストリウム インスリン 今村正之 (一外)	カストリウム インスリン 今村正之 (一外)	肝・胆・膵 山本雄造 (二外)	食道・胃・内分泌 嶋田裕 (一外)	食道・胃・内分泌 嶋田裕 (一外)
413 TEL(4470)	食道・胃・大腸 川口義弥 (一外)	食道・胃・大腸 山本成尚 (一外)	食道・胃・大腸 渡辺剛 (一外)	食道・胃・大腸 渡辺剛 (一外)	食道・胃・大腸 佐藤誠二 (二外)	胃・胆・膵 河本泉 (一外)	胃・胆・膵 河本泉 (一外)
414 TEL(4471)	食道・胃・乳腺 山崎誠二 (一外)	肝・胆・膵 猪飼伊和夫 (二外)	肝・胆・膵 森章 (一外)	肝・胆・膵 森章 (一外)	肝・胆・膵 寺嶋宏明 (二外)	肝・胆・膵 井上一知 (一外)	肝・胆・膵 井上一知 (一外)
415 TEL(4472)	乳腺 加藤大興 (二外)	乳腺 加藤大興 (二外)	乳腺 加藤大興 (二外)	乳腺 加藤大興 (二外)	乳腺 加藤大興 (二外)	乳腺 竹内恵(午後のみ) (二外)	乳腺 竹内恵(午後のみ) (二外)
416 TEL(3787)	乳腺(午後) 担当医 (二外)	乳腺 竹内恵 (二外)	乳腺(午後) 担当医 (二外)	乳腺(午後) 担当医 (二外)	乳腺 稲本俊 (二外)	乳腺 稲本俊 (二外)	乳腺 稲本俊 (二外)
417 TEL(3693)	移植 貝原聡 (移植外科)	小児・移植(午前) 藤本康弘(小児外・移外) 小嶋浩二(移植外)	移植 貝原聡 (移植外科)	移植 貝原聡 (移植外科)	移植 貝原聡 (移植外科)	移植 貝原聡 (移植外科)	移植 貝原聡 (移植外科)
418 TEL(3691)	移植 江川裕人 (移植外科)	移植 江川裕人 (移植外科)	移植 江川裕人 (移植外科)	移植 江川裕人 (移植外科)	移植 江川裕人 (移植外科)	移植 江川裕人 (移植外科)	移植 江川裕人 (移植外科)
419 TEL(3690)	移植 木内哲也 (移植外科)	移植 木内哲也 (移植外科)	移植 木内哲也 (移植外科)	移植 木内哲也 (移植外科)	移植 木内哲也 (移植外科)	移植 木内哲也 (移植外科)	移植 木内哲也 (移植外科)
409 TEL(4465)	移植 上田幹子 (移植外科)	移植 上田幹子 (移植外科)	移植 上田幹子 (移植外科)	移植 上田幹子 (移植外科)	移植 上田幹子 (移植外科)	移植 上田幹子 (移植外科)	移植 上田幹子 (移植外科)

1 外科のストマ外来は毎月第1、第2、第4水曜日で予約患者さんのみ  
 2 外科の高圧酸素は午後のみ、新患は月曜、水曜受付不可  
 移外の受付 月曜日は12:00~14:30  
 2 外科416号室の乳腺外来(月・水)は12:00~14:30

デイサービス受付 (内線4580)

4-E受付		心臓血管外科(220)				内線 4460 FAX 4462	
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
410 TEL(4467)	心臓外科外来 米田正始 (一外)	心臓外科外来 米田正始 (一外)	心臓外科外来 米田正始 (一外)	心臓血管外科外来 西村和修 (一外)	心臓血管外科外来 西村和修 (一外)	心臓血管外科外来 亀山敬幸 (一外)	心臓血管外科外来 亀山敬幸 (一外)
409 TEL(4466)	心臓外科外来 池田義 (一外)	心臓外科外来 池田義 (一外)	心臓外科外来 池田義 (一外)	心臓血管外科外来 仁科健 (一外)	心臓血管外科外来 仁科健 (一外)	小児心臓外科 池田義 (1.3.5週のみ)	小児心臓外科 池田義 (1.3.5週のみ)
408 TEL(4465)	心臓外科外来 三和千里 (一外)	心臓外科外来 三和千里 (一外)	心臓外科外来 三和千里 (一外)				

4-E受付		形成外科(190)				内線 4460 FAX 4462	
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
406 TEL(4463)	担当医	担当医	内藤浩	樋上敦	マイクローサー 再建 鈴木義久	唇裂・口蓋裂 手足の先天異常 鈴木義久	唇裂・口蓋裂 手足の先天異常 鈴木義久
407 TEL(4464)	担当医	担当医	顔面外傷骨折 担当医	担当医	皮膚腫瘍 中村哲郎	皮膚腫瘍 片岡和哉	皮膚腫瘍 片岡和哉
408 TEL(4465)					担当医	担当医	担当医
417 TEL(3693)							

4-D受付		呼吸器外科(390)				内線 3415 FAX 4591	
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
403 TEL(4927)	和洋己 手嶋多汗症 長谷川誠記(午後のみ)	和洋己	宮原亮	和田洋己	中村達雄	長谷川誠記	長谷川誠記
404 TEL(4928)	柳原一広	柳原一広	花岡伊治 宮村誉史 (隔週)	田中文啓	李美於	板東徹	板東徹

4-D受付		麻酔科(160)				内線 3415 FAX 4591	
診察室	曜日	月	火	水	木	金	
405 TEL(3442)	角山正博 宮崎嘉也	角山正博 宮崎嘉也	宮崎嘉也	石井久成	石井久成	角山正博 難波恒久	角山正博 難波恒久